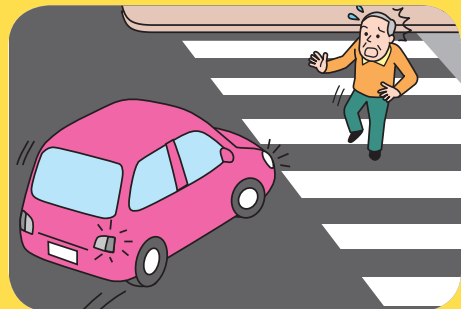


Q1

平成 20 ～ 24 年までの 5 年間における歩行中の交通事故死者数は 7627 人です。これを車両運転者の法令違反別に見ると、最も多いのは「安全運転義務違反」(67.9%) ですが、2 番目に多い違反は次のうちどれでしょう？



- ①横断歩行者妨害違反*
- ②交差点安全進行義務違反
- ③最高速度違反
- ④信号無視

※ 道路交通法第38条には横断歩道における歩行者優先を中心とした保護規定が設けられており、この規定の違反が「横断歩行者妨害違反」と呼ばれている。

Q2

横断歩行者妨害違反による事故で死亡した歩行者（平成 20 ～ 24 年・1064 人）を年齢層別にみると、最も多い年齢層は次のうちどれでしょう？

- ① 19 歳以下
- ② 60 ～ 69 歳
- ③ 70 ～ 79 歳
- ④ 80 歳以上

Q3

横断歩行者妨害違反による事故で死亡した歩行者（平成 20 ～ 24 年・1064 人）を車両の進行方向別にみると、最も多いのは次のうちどれでしょう？

- ①交差点直進
- ②交差点左折
- ③交差点右折
- ④単路直進

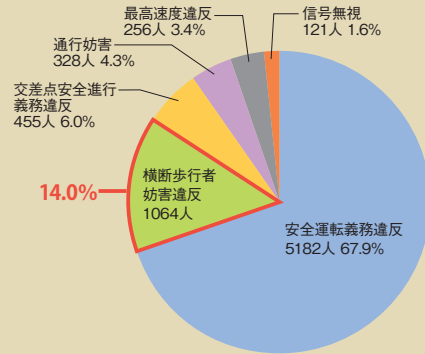
【使用上の注意】

●営利目的での利用はおやめください ●内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください ●その他、使用に関するご質問はお問い合わせください
本田技研工業（株）安全運転普及本部 TEL:03 (5412) 1736

Q1 解答 ①横断歩行者妨害違反

<解説>

平成 20～24 年の 5 年間に於ける歩行中の交通事故死者数 (7627 人) を運転者の法令違反別にみると、安全運転義務違反 (67.9%) に次いで多いのは横断歩行者妨害違反 (14.0%) である。安全運転義務違反はすべての場所で適用されるのに対し、横断歩行者妨害違反は横断歩道という限られた場所で適用されるため、この違反による死者数は少なくないといえる。ドライバー・ライダーは、信号が青でも横断歩道を横切るときは、横断歩道上とその周囲の安全確認を十分に行い、横断しようとする歩行者を保護しなければならない。



●運転者の法令違反別歩行中死者数 (平成 20～24 年)

Q2 解答 ④ 80 歳以上

<解説>

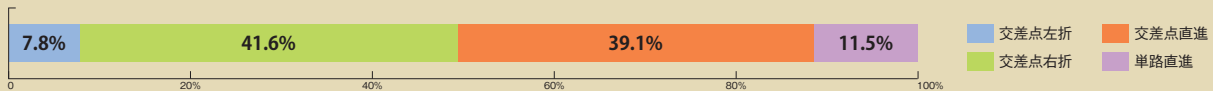
横断歩行者妨害違反による事故で死亡した歩行者 (平成 20～24 年・1064 人) を年齢層別にみると、最も多いのは 80 歳以上 (36.6%) で、70～79 歳 (34.2%)、60～69 歳 (15.5%) と続く。死者数は年齢が高くなるほど多くなることから、ドライバー・ライダーは、横断歩道付近では高齢歩行者に配慮した運転が求められる。

Q3 解答 ③交差点右折

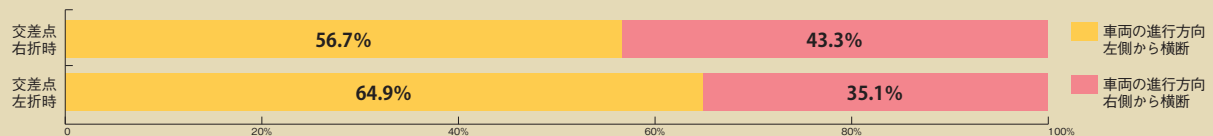
<解説>

横断歩行者妨害違反による事故で死亡した歩行者 (平成 20～24 年・1064 人) を車両の進行方向別にみると、最も多いのは交差点右折 (41.6%) である。交差点での事故において、車両側の人的要因は「発見の遅れ」が 9 割以上を占めている。ドライバー・ライダーが、横断歩行者がいるかどうかを十分に確認していれば防げる事故といえる。また、交差点右左折時は車両の進行方向左側からの歩行中死者が多くなっている。ドライバー・ライダーは右左折時、自分の左側から近づいてくる歩行者には特に注意が必要だ。

●横断歩行者妨害違反による歩行中死者の車両進行方向別割合 (平成 20～24 年・構成率)



●車両の交差点右左折時における歩行者の進行方向別割合 (平成 20～24 年・構成率)



※文中のデータ、グラフの出典は「イタルダイナミクス No.100」

[使用上の注意]

●営利目的での利用はおやめください ●内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください ●その他、使用に関するご質問はお問い合わせください
本田技研工業 (株) 安全運転普及本部 TEL:03 (5412) 1736